

安全データシート (SDS)

< 1. 製品及び会社情報 >

製品名 ミルコン MS-2
 コード 6337-0001
 会社名 水谷ペイント株式会社
 住 所 大阪市淀川区西三国 4 丁目 3 番 9 0 号
 担当部門 品質管理課
 電話番号 06-6394-2653 FAX 番号 06-6391-3429
 緊急連絡先 水谷ペイント株式会社 生産部
 電話番号 06-6391-3151
 製品の種類 副資材 (増粘剤)
 用 途 建築用、その他
 作 成 平成 7年 6月 28日
 改 訂 平成 25年 12月 25日

< 2. 危険有害性の要約 >

【GHS分類】

急性毒性 経口 : 分類できない
 経皮 : 分類できない
 吸入(ガス) : 分類できない
 吸入(蒸気) : 分類できない
 吸入(粉塵、ミスト) : 分類できない
 皮膚刺激/腐食性 : 分類できない
 眼損傷性/眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原生 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 区分外
 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 区分外
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 水生環境有害性(急性) : 分類できない
 水生環境有害性(慢性) : 分類できない
 オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】

なし

【危険有害性情報】

なし

【注意書き】

〈予防策〉

- ・容器を密閉しておくこと。
- ・取扱時には飲食や喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
- ・屋外または換気の良い場所のみで使用すること。
- ・取扱後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

〈応急措置〉

- ・目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。コンタクトを使用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。口をすすぐこと。
- ・皮膚等に付着した場合 : 直ちに汚染した衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を大量の水や石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てをうけること。
- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
- ・暴露又は暴露の懸念が有る場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- ・漏出した場合 : 漏出物を回収すること。

〈保管〉

- ・涼しく換気のよい場所で施錠して、保管すること。

〈廃棄〉

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託する。

< 3. 組成、成分情報 >

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：含水珪酸マグネシウム（別名 セピオライト）

化学特性： $Mg_3Si_2O_5(OH)_4 \cdot 8H_2O$

CAS No：63800-37-3

成分及び含有量：化学分析値の代表的な例（110℃基準%）

SiO ₂	40.0%
CaO	15.2%
MgO	17.1%
Ig-loss	24.8%

・ミルコン MS-2 製品中に0.0～1.0%の遊離ケイ酸（結晶性シリカ CAS No. 14808-60-7）が存在する。

*セピオライト中の石綿含有の有無の判定については厚生労働省の「天然鉱物中の石綿含有率の分析方法」で分析し、石綿含有率は0.1%を超えておらず、分類には寄与しない。

< 4. 応急措置 >

目に入った場合：

- ・直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・付着物を布などで素速く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合：

- ・粉体を吸い込んだ場合、うがい洗浄を行う。
- ・粉体を吸い込んで気分が悪くなった場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・粉体を飲み込んだ場合、うがい洗浄を行う。
- ・誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- ・嘔吐物は飲み込ませない。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせない。

< 5. 火災時の措置 >

特定の消火方法：このものには可燃性はない。

< 6. 漏出時の措置 >

- ・作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・掃き集めて取り除く、または、掃除機等で吸い取る。粉じんが飛散しないようにして取り除く。
- ・漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

< 7. 取扱い及び保管上の注意 >

取扱い：

- ・換気の良い場所で取扱う。
- ・防塵マスクを着用する。
- ・皮膚、粘膜、又は衣服に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・取扱後は手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管：

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。多湿、水濡れに注意する。
- ・屋内に保管する。

< 8. 暴露防止及び保護措置 >

管理濃度：E = 3.0 / (1.19Q + 1)

[E：管理濃度 mg/m³ Q：粉塵中遊離ケイ酸含有率（Q = 0.0～1.0%）]

許容濃度：日本産業衛生学会（2001年度版）

第2種粉塵	吸入性粉塵	1mg/m ³ 、総粉塵	4mg/m ³
吸入性結晶質シリカ	吸入性粉塵	0.03mg/m ³	

設備対策：作業場所の近くに洗眼や身体洗浄用の設備を設ける。

粉塵側に従い局部排気装置、除塵器等を設置する。

保護具：呼吸器の保護具；防塵マスク

目の保護具；保護眼鏡（プラスチック粉塵用）

手の保護具；保護手袋（ゴム手袋等）

皮膚及び体の保護具；保護服（一般の作業衣）

< 9. 物理的及び化学的性質 >

形状	；繊維状
色	；白色または淡褐色
臭い	；なし
密度	；2.6
融点	；1300℃
溶媒に対する溶解性	；水に不溶

<10. 安定性及び反応性>

- 安定性 : 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性 : 自己反応性なし。
避けるべき条件 : 特に情報が得られていない。
混触危険物質 : 特に情報が得られていない。
危険有害な分解生成物 : 特に情報が得られていない。

<11. 有害性情報>

- 有害性情報は有していない。
その他 : 粉じんを多量に、かつ、長期間にわたって吸入した場合、じん肺を起こすことがある。

<12. 環境影響情報>

- ・漏洩時、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
- ・特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。
- ・本製品の分解性、蓄積性、魚毒性については情報を有していない。

<13. 廃棄上の注意>

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・廃水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

<14. 輸送上の注意>

- ・共通 :
 - ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
 - ・容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
 - ・水に濡らさない。容器を破袋させないように注意する。
- ・陸上輸送 : 法規に該当しない。
- ・海上輸送 : 法規に該当しない。
- ・航空輸送 : 法規に該当しない。
- ・国連分類及び国連番号 : 該当しない

<15. 適用法令>

- ・化学物質管理促進法 (P R T R 法)
非該当
- ・労働安全衛生法 通知物質(シカ)
- ・じん肺法
- ・粉塵障害防止規制

<16. その他の情報>

主な引用文献

- ・(社)日本塗料工業会編集「GHS対応SDSラベル作成ガイドブック」
- ・(社)日本塗料工業会編集「SDS用物質データベース」
- ・溶剤ポケットブック

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。